

San-iku 通信



ご自由にお持ちください。

2016 AUTUMN

Vol. **11**

社会福祉法人 賛育会 広報誌
さんいく通信

News
特集

第二清風園



ノロウイルスによる感染性胃腸炎・食中毒に注意
健康でおいしく ～栗と鶏肉の甘辛炒め煮
賛育会ヒストリー ～第三章 第三話



しそジュースを作りました

特集

第二清風園

1年後に控えた開設20周年に向けて、 ますます地域のニーズに応える施設を目指して

大規模改修を終えて、新しく生まれ変わった施設

小田急線鶴川駅からバスで15分、町田市の名所である薬師池公園に近い第二清風園は、薬師台の閑静な住宅街の中にあります。また、金井の清風園から1.5kmの距離にあり、2つの施設が鶴川圏域の中心に位置しています。1997年4月に在宅複合型施設として開設、当時の在宅ニーズに応えるため、ショートステイが50床、1日50名を超える大規模なデイサービスを運営するとともに、ヘルパー養成講座を実施して地域の介護人材の育成などに取り組んできました。ショートステイ定員が50床と多いため、1日20名ほどの入退所がありました。市内でも往復60分かかる遠距離の送迎も行い、行政と連携して虐待を含めた様々な課題を抱えた方を受け入れてきました。市内の施設整備が進み、ショートステイの受け入れ先が増えたため、2012年12月にショートステイ用ベッド20床を特別養護老人ホームへ転換しました。このように多くの地域の方にご利用いただき、様々なニーズに応じてこられたのは、職員の働きだけでなく、ボランティアのご協力があったからです。散歩の付き添い、花壇の手入れ、職場体験に来た学生への車いす操作

方法の説明や、施設イベントでの歌や踊りの披露など、多岐に渡ってお手伝いいただくことで、地域の皆さまと共に、信頼される施設を作ることができました。

現在は特別養護老人ホーム(定員100名)、ショートステイ(定員30名)、デイサービス(一般型50名、認知型12名)、居宅介護支援事業所、町田市の委託事業で地域包括ケアの要である鶴川第1高齢者支援センター、高齢者アパートのハイツ薬師台、高齢者見守り相談窓口としての野津田あんしん相談室、第二清風園居宅介護支援事業所が連携を運営しています。

大規模改修を終えて、新しく生まれ変わった第二清風園は、20年目に向けて職員の気持ちも新たに、ご利用者が安心して暮らせる施設であるとともに、地域の福祉拠点となるよう頑張っています。



元気に体操



浴室を明るくリニューアル

カワセミのいるどこかのどかな街



町田市の東部に位置する鶴川は、近年、駅周辺の区画整備により商業施設などが増えた一方で、公園も多く、少し足を延ばせば里山のような自然豊かな景色を眺望できます。近くを流れる鶴見川沿いは、ウォーキングや町田市の鳥、カワセミを撮影する人などで賑わっています。また、国土館大学、和光大学などいくつも大学があり、学生が多い街でもあります。

毎年5月には鶴川deウォーキングというイベントが開催され、子どもから高齢者まで多くの方が参加されます。鶴川は活気があり、そしてどこかのどかな街です。

■インフォメーション 特別養護老人ホーム 第二清風園

TEL:042-736-6906
東京都町田市薬師台3-270-1

■Web サイト

<https://www.san-ikukai.or.jp/machida/seifu2/index.html>

知っ得! ケア

ノロウイルスによる 感染性胃腸炎・ 食中毒に注意

～手洗いを日常的に
習慣づけましょう!～

秋から冬にかけてノロウイルスによる集団感染が多く発生しています。人から人へ感染する感染性胃腸炎の他、食品を汚染して食中毒の原因にもなります。感染した人の便や吐物には多量のノロウイルスが含まれており、感染力が強く少量でも感染します。感染すると、1～2日で発症。吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などを引き起こします。通常、これらの症状が1～2日続いた後自然に回復しますが、高齢者や子供の場合は、1日に20回以上の下痢を起こし、脱水症状などで入院が必要となることがあります。また、感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。症状がおさまっても、数週間は排便時にウイルスが排出されますので注意が必要です。食事はなるべく火を通したものを食べましょう。特に貝類はしっかり加熱して下さい。ノロウイルスはアルコール消毒が効かないので、最も基本的な予防方法は手洗いです。排便後や食事の直前は特にしっかりと手洗いをすることが重要です。



栗と鶏肉の甘辛炒め煮

秋といえば「さんま」ですが収穫の秋は盛りだくさん。いろいろな食材の中から「栗」を使った献立を紹介します。

■材料(2人分)

鶏もも肉こま切れ	100g～120g	酒	大さじ1
塩こしょう	少々	しょうゆ	大さじ1
栗	8個	みりん	大さじ1
ひらたけ	1パック(約100g)	水	適量
人参	1/3本(中1本約90～100g)	油	少量
いんげん	適量 彩り用(なくても可)		

■作り方

1. 鍋にたっぷり栗がかかるぐらいの水をいれ、沸騰したら火を弱め15～20分煮る。
2. 冷めたら渋皮まできれいに剥いておく。(旬の時期は、むき栗も出るので使用すると簡単)
3. 塩こしょうで下味をつけた鶏肉を鍋に油をひいて炒める。
4. 鶏肉の色が変わったら栗と人参をいれて、さらに炒める。
5. 水をひたひたになるまで加え、酒、しょうゆ、みりんを1:1:1の割合で加える、具材が軟らかくなるまでコトコト煮込む。
6. ひらたけ、いんげんを加え、さっと火が通ればできあがり。

(レシピ提供:第二清風園 管理栄養士 奥野美代子)

賛育会ヒストリー

賛育会の歴史物語



1950年代後半(昭和30年代)、社会保険制度・生活保護制度の整備に伴い、賛育会病院を中心とする賛育会の医療事業は社会事業としての使命に限界を来していた。一方で、日本の平均寿命は伸び続け、賛育会病院でも高齢者の入院者の増加に伴い介護を要する高齢者の退院先に苦慮していた。当時は『介護』という言葉もなく、老人ホームは生活困窮者としての高齢者を想定しており、日常生活で介助や看護を必要とする高齢者は入所を断られることも多かった。当時の常務理事丹羽昇は、自身でも90歳を超える父親の介護という課題に直面しており、医療機関を営む賛育会こそが開拓的使命をもって取り組むべき社会問題としてこれを捉えたのが1957年(昭和32年)頃であった。

第三章 賛育会 事業はじめて物語

第三話 清風園(町田事業所):東京都町田市金井

翌年から建築資金の確保と土地を探し求め、1960年(昭和35年)に東京都町田市の玉川学園付近の土地約2300坪を購入できた。次いで、日本各地の老人ホームなどを見学し、新規事業への学びを重ねながら建設計画がスタート。1963年(昭和38年)には、当時、老人福祉施設建築の権威であった日本大学助教授の木下茂徳氏に設計を依頼できたこともあり、計画は一層の進展を見せた。そして老人福祉法の制定された年、1963年12月7日に着工し、翌1964年(昭和39年)7月27日に特別養護老人ホーム「清風園」(100床)が開設され初の入居者を迎えた。清風園の名は、当時の理事長片山哲が好んだ漢詩の一句『清風自来』から採ったものである。斯くして、賛育会の、いや日本の高齢者福祉事業の先駆けである町田事業所が産声を上げ、医療事業と並び、今日の賛育会を支えるもう一つの柱へと成長したのである。



保育園と 認定こども園の違い

保育園制度には認可保育園、小規模認可保育園(定員6名以上19名以下、2歳児まで)及び認可外保育施設(自治体の認証・認定)がありますが、職員数や資格、保育室の面積や設備、受入れる年齢等により区分がなされています。

認定こども園は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的提供の推進に関する法律等の諸法令に基づき開始された制度です。類型として①幼保連係型は幼稚園及び認可保育園が一体的運営を行う②幼稚園型は認可幼稚園が保育園の機能を備える③保育所型は認可保育園が幼稚園の機能を備える④地方裁量型は認可外の教育・保育施設が、認定こども園として必要な機能を備える、など4タイプとして生まれました。保育園及び認定こども園の入園は、支給認定証(保育の必要性)により違いがあります。

認定には1号から3号まであり、1号認定は満3歳以上で認定こども園(短時間)、2号認定は満3歳以上保育園及び認定こども園、3号認定は満3歳未満で認可保育園や認定こども園及び小規模認可保育園に入園できます。また、認可保育園は保護者と自治体で、認定こども園・小規模認可保育園は保護者と施設・事業者との契約となります。



賛育会後援会
～賛育会病院の建て替えのために～

第9回 チャリティーコンサート2016

今年で第9回を迎える賛育会チャリティーコンサートは、賛育会後援会の主催で、長年にわたり地域の医療を支えてきた賛育会病院が、その働きを継続発展できるよう、建物の建て替え支援を目的に開催されます。チケット代もお手頃で、気軽にクラシックに触れていただけます。皆様のご来場を心からお待ちしております。

チケットのお申し込みは、賛育会の各老人ホーム・病院にてご購入いただけます。
ホームページからお申し込みができます。
<https://www.san-ikukai.or.jp/txt/event.html>
<https://www.san-ikukai.or.jp/news.html#20160824>

San-iku 通信 Vol.11 2016年 秋号

編集発行人: 西原 良信

発行所: 社会福祉法人 賛育会

東京都墨田区太平3-17-8 電話: 03-3622-7614

印刷: (有)エースプリント

賛育会ホームページ <https://www.san-ikukai.or.jp/>



賛育会病院(東京都墨田区)

第7回すみだストリートジャズ フェスティバルに参加しました



すみだストリートジャズフェスティバルは、「街全体が会場」というテーマのもとに、街中に音楽が溢れる楽しいお祭りです。

賛育会病院は昨年初参加しました。今年は8月13日(土)に駐車場をステージとして、ジャズ、ポップスなど6組のアーティストが演奏して下さいました。暑い中、一般のお客様だけでなく、入院中の患者様やお見舞いの方など、沢山の皆様にご来場頂きました。

Hello! ホスピタル 賛育会病院

Vol. 11

CT装置を更新しました

より速く、より鮮明に、より正確に。



当院では、東芝社製の4列マルチスライスCT装置「Asteion」を使用していましたが、本年9月21日より日立メディコ社製16列マルチスライスCT装置「Supria」に更新致しました。新CT装置「Supria」の特徴は、

今までよりX線検出器の数が4倍の16列になったことにより、呼吸停止の時間が約半分程度(胸部の検査であれば12秒前後)で済むことです。

またCT検査ではX線による被爆が避けられませんが、「逐次近似応用再構成」という技術を搭載しているため、被爆を低減しながらも鮮明な画像が得られます。体内金属による画像の歪みも補正され、明瞭に映し出されます。

新しい検査としては「大腸CT」が可能になりました。食事制限や下剤などで大腸をある程度カラッポの状態にし、お尻から炭酸ガスを入れ大腸を膨らませ、大腸3D画像の仮想内視鏡画像や仮想注腸画像・任意方向断面画像(MPR)を、専用の解析用ソフトウェアで作成し診断します。

今まで大腸内視鏡検査や注腸検査で行ってきた検査が、CT検査で可能となります。検査内容につきましては病院ホームページに掲載しています。是非、ご覧ください。

■問合先 電話:03-3622-9191

■賛育会病院ホームページ

<https://www.san-ikukai.or.jp/sumida/hospital/>